

# 安心もおもてなしのひとつです

-観光と防災をつなぐインバウンド支援のかたち-

## 藤原ゼミBチーム

井藤千仁 大角司 佐藤真羽 高橋まり  
多田聖弥 原田優吾 藤村飛羽

# 目次

## はじめに

1. 達成すべき副首都ビジョン

2. テーマについて

## 調査と結果

3. インタビュー調査と結果

4. 行政の取り組み

## 提案とまとめ

5. 政策提案

6. 総括

7. 参考文献

# 1,達成すべき副首都ビジョン

## “副首都”とは

「**民都**」の力を発揮し、  
グローバルに経済を成長させる

危機管理機能を強化し、  
バックアップ拠点「**重都**」を形成する

外国人をはじめ多様な人々が  
安心して暮らせる共生社会の実現  
「**インクルーシブシティ**」

消防 地震・津波対策 感染症対策  
「**安全・危機管理機能強化**」

副首都ビジョンを達成できた大阪を  
「**観光客防災特区**」と名付ける

## 2,テーマについて

1. 観光名所でもある大阪が副首都としての役割を果たす
2. 災害が発生した場合に安心して過ごせる環境を作る

災害時誰もが「**不安**」や「**恐怖**」を抱く



海外からやってきた人の気持ちは計り知れない

多様な人が集まる街として誰でも安心して過ごせる街にしなければならない

# 観光客・住民の避難を迅速に行うことができるのか？

早期避難率が**低い**場合 避難が**迅速**な場合



被害予想最新のデータ2013年度

大阪の外国人観光客推移

2013年  
263万人

約6倍

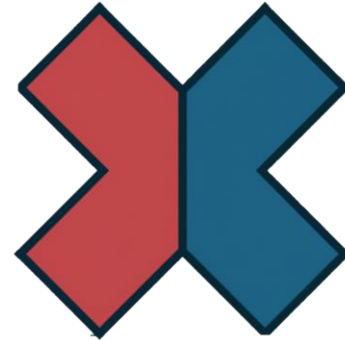


2024年  
1463万人

## 2.テーマについて(現状と分析)

### フロー情報

災害が起きました  
避難してください  
津波がきます  
地震が起きます



### ストック情報 (これまでの知識や経験、情報)

避難するメリット  
災害の危険性  
避難先での注意点  
避難所の場所

= 避難

外国人にはこれまでの地震・津波に関する知識・経験が少ない人が多く  
避難行動が取りにくいのでは？



# 3,インタビュー調査と結果

### 3.インタビュー調査

調査日：2025年5月28日（水）

調査場所：大阪駅周辺  
夢洲駅

対象：訪日外国人 30名



## 質問内容

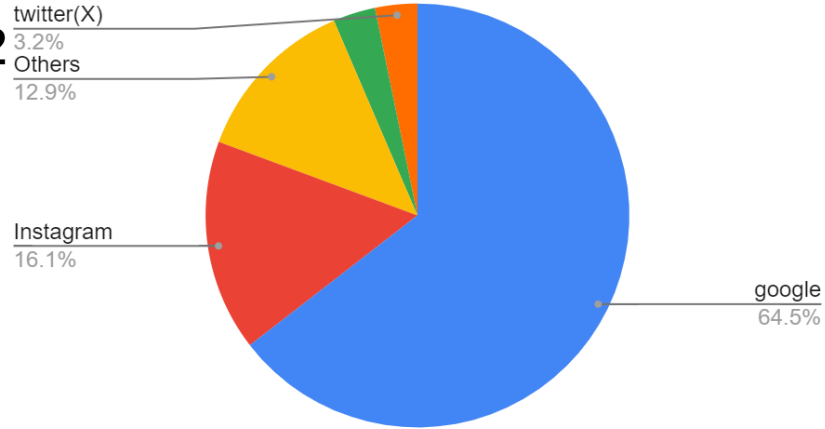
- 1.日本は災害大国であることを知っていますか
- 2.緊急時の情報収集に何を使いますか
- 3.宿泊先の避難経路を把握していますか
- 4.避難中に最も心配なことは何ですか
- 5.避難時に書面による指示と図やイラストなどの視覚資料のどちらが役に立つと思いますか
- 6.今災害が起きたら避難場所は分かりますか



### 3.インタビュー調査 結果

緊急時の情報収集

Q2

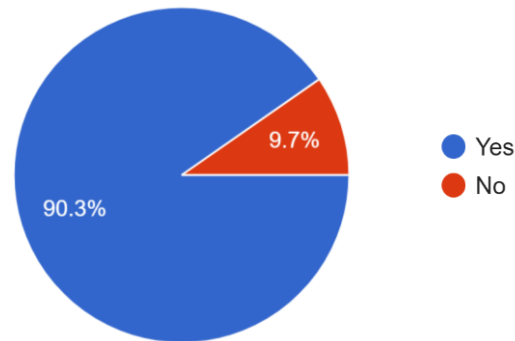


safety tips、大阪防災アプリなどの認知度は低い

→ 災害時に必要な情報を瞬時に入手することが困難

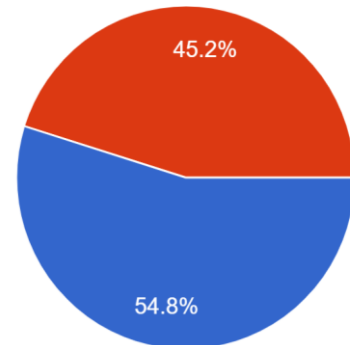
Q1

災害大国であることを  
知っていますか



Q3

宿泊先の避難経路を  
把握していますか



日本が災害大国だと知っている人は約90%

準備を行えていない外国人が約半数

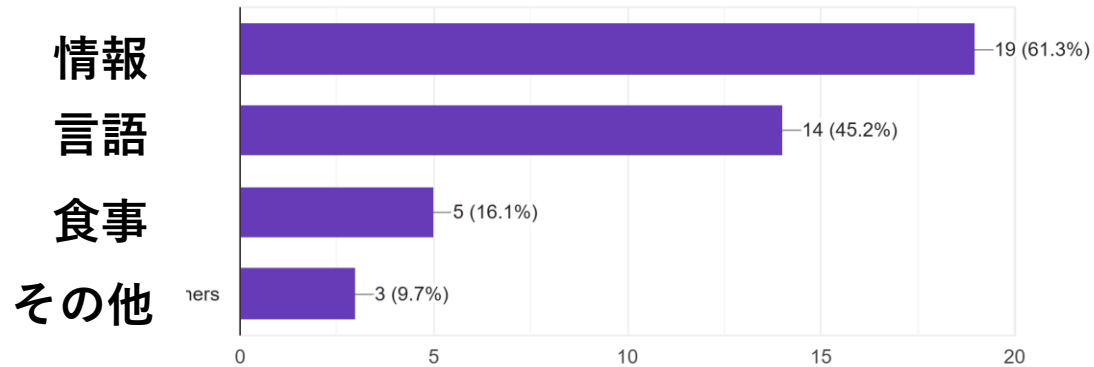
「災害に対する準備不足」



### 3.インタビュー調査 結果

#### Q4 避難中に最も心配なことは何ですか

31 件の回答

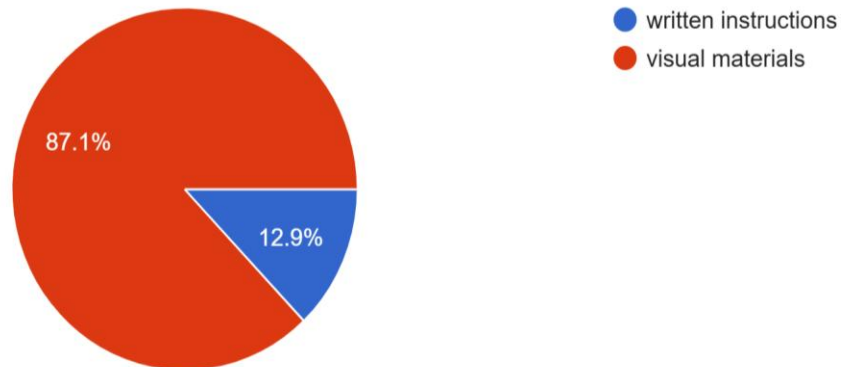


#### 避難中の心配事

→ 「**情報**」 と 「**言語**」  
(61.3%) (45.2%)

#### Q5 避難時に書面による指示と図やイラストなどの視覚資料のどちらが役に立つと思いますか

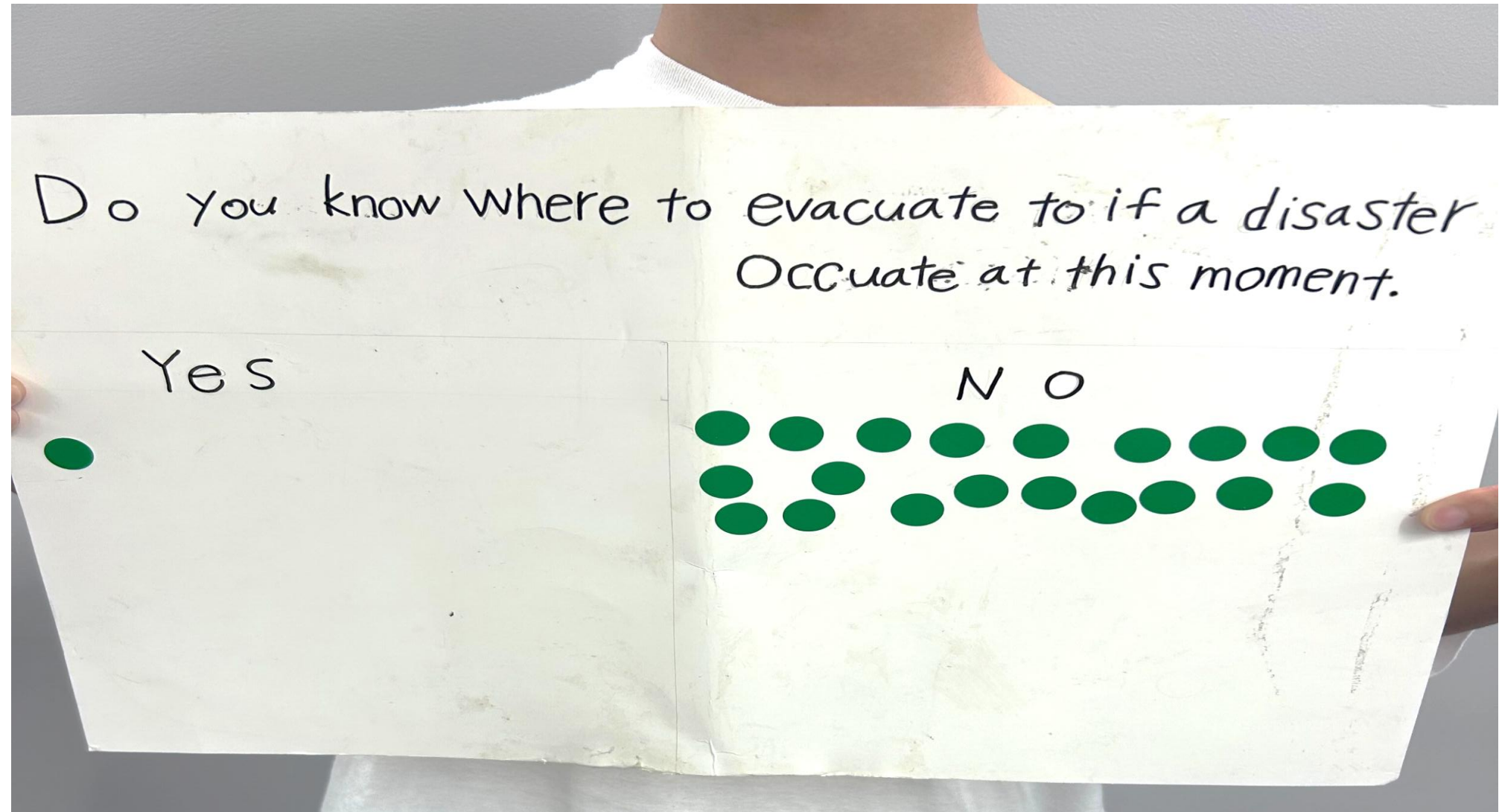
31 件の回答



図やスライド、アプリなど  
「**視覚的**」に把握できるもの

### 3.インタビュー調査 結果

Q6 「今災害が起きたら避難場所は分かりますか」



”現存の避難システム”の限界

## 4 ,行政の取り組み

## 4.行政の取り組み

東京都新宿区 危機管理担当部 危機管理課（2025年10月22日）  
沖縄県庁 防災危機管理課（2025年9月24日）へインタビューを行い、  
アンケートから推測した課題の**行政の取組**を調査

- 文化や宗教的背景に配慮した支援
- 避難所での外国人に対するルールの周知方法
- 観光客へ事前の周知
- アプリやウェブサイトとの連携
- 外国人に対しての職員の動き方
- 現地住民と観光客（外国人含め）文化の違いからのストレスや対立に対する取り組み
- 災害時の外国人対応における課題と展望 etc.



### 調査結果

#### 課題

Safety tips,おきなわ物語などの防災サービスの認知度の低さ  
市町村との連携  
様々な国籍の観光客への対応  
個人旅行者の被災状況の把握

#### 対策

主要観光地や空港へのポスター掲載  
観光関連事業者との図上訓練やセミナーの開催  
県・市の職員に対してのセミナーの開催  
ハラル食品の備蓄

## 5 ,政策提案

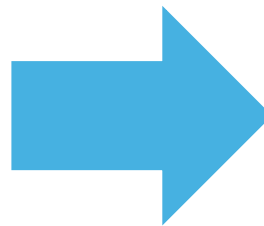
1. **AR**を用いた**避難経路**の誘導
2. **ストレス**がない**避難先**の実現
3. **防災システム**の**認知度向上**方法

# 既存防災の「**伝わらない**」課題を、 ARと市民協働で「**直感的にわかる**」防災へ

### 課題 (As-Is)

既存防災システムの3つの課題

- ・ 判断の困難
- ・ 被災状況の把握
- ・ 言語の壁



### 解決方法 (To-Be)

AR防災プラットフォームによる解決策

- ・ ARによる直感的行動支援
- ・ 被災状況の共有
- ・ 言語の壁の解消

# 5.政策提案(避難中)

既存アプリの  
活用

ORDEN  
大阪広域データ  
連携基盤

Googleの  
AI・衛星技術

観光・防災



副首都・大阪PRキャラクター にゃにわ福まる

平時・有事の統合型アプリ

「平時の観光利用が、有事の防災力に」

平時

観光  
地図

危険箇所の  
報告・確認

防災意識  
向上

有事

避難誘導

危険箇所  
回避

2029年～2030年の完成・運用を目指す！

## 5.政策提案(避難中)



左図より「**簡潔**」かつ、「**視覚的**」に  
避難経路が把握できるARの提供



**安心して避難を開始可能**

概算推定)開発費用**6,500**万円・運用保守費用**1,740**万円/年  
財源案) スマートシティ戦略推進事業費、DX推進関連予算

## 外国の文化、日本のマナーを理解してもらい 過ごしやすい避難場所を提供

電子版QR



文化やルールを記載  
(例) 物資は列に並んで受けとってな  
煙草とお酒は控えてや

電子版用QRコード記載

チラシ1000枚あたりの費用  
計5社最安値の平均値段

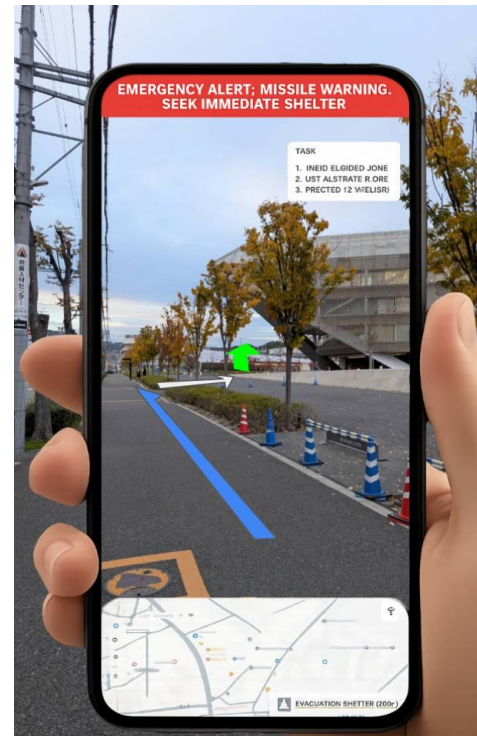
⇒ 約3332円

財源案: 防災補助金、危機管理事業補助金など



# 「Safety Spot」

～防災アプリの知名度・防災意識の向上を目指す～



「SafetySpot」イメージ図      ダウンロード促進      配布



# 「Safety Spot」

## 例) 大阪城

2024年度の観光客数は約265万人、1日あたり7260人



1日**1000枚**配布、**500ダウンロード**を目標

大学生などの**ボランティア**を主体とした運営を軸

「Safety Spot」来場者に  
にゃにわ福まる × 大阪の観光地のステッカーをプレゼント



副首都・大阪PRキャラクター にゃにわ福まる

## 6,総括

大阪が「観光客防災特区」として実現



多様性を理解し、誰もが歩み寄れる空間の提供

緊急事態でこそ真価を発揮する大阪のバックアップ都市「重都」  
商いの街「民都」としての役割



災害が発生しても「大阪」に来て・住んでよかったと思える街へ

# 6.参考文献



OTEMON GAKUIN

大阪府（2013年〈平成25年〉）

『南海トラフ巨大地震に係る各種被害想定結果について』

<https://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/cmsfiles/contents/0000011/11795/04shiryou1.pdf>

大阪府（2024年）

『国内外からの旅行者の状況』

<https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/29640/siryou3.pdf>

朝日新聞デジタル（2025年）

『大阪への外国人客、過去最多 来日3人に1人来訪、増加目立つ国は』

<https://www.asahi.com/articles/AST1X4F2QT1XOXIE02TM.html>

総務省（2024年）

『外国人観光客受入環境整備に関する調査報告書』

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000798092.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000798092.pdf)

大阪市ホームページ「大阪城天守閣の令和6年度年間入館者数が265万人を超えました」（2025年）

<https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000651531.html>

・ラクスル「チラシ印刷・フライヤー印刷」

[https://raksul.com/flyer/?ra\\_cl=r-top-sm\\_product\\_category-1](https://raksul.com/flyer/?ra_cl=r-top-sm_product_category-1)

・プリントアース「フライヤー印刷・チラシ印刷（総合案内）」

<https://www.inkart.jp/lineup/flyer-items-pickup/>

・プリントネット「フライヤー・チラシ印刷」

<https://odahara.jp/omitumori/flier-tirashi/>

・プリントプロ「フライヤー・チラシ印刷」

<https://printpro.jp/products/flyer/>

・プリントバック「チラシ・フライヤー」

<https://www.printpac.co.jp/pricelist/single.php?product=leaflet>

読売新聞オンライン

「空飛ぶ基地局」来年にも実用化…成層圏の無人機にアンテナ搭載、災害時の通信確保に期待

<https://www.yomiuri.co.jp/economy/20251029-OYT1T50003/>

NTT R&D Website

Beyond 5G/6Gに向けた多層型NTNの研究開発

[https://www.rd.ntt/research/JN202306\\_22157.html](https://www.rd.ntt/research/JN202306_22157.html)

ソフトバンクニュース

世界に向けて空飛ぶ基地局を日本から。次世代社会の基幹インフラ「HAPS」 | ソフトバンクが描くUTX #3

[https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20250916\\_01](https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20250916_01)

総務省

情報通信白書令和7年版

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/r07.html>

国立研究開発法人情報通信研究機構 耐災害ICT研究協議会

災害に強い情報通信ネットワーク導入ガイドブック2024

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000986606.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000986606.pdf)

総務省

デジタルインフラ整備計画2030

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/001013976.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/001013976.pdf)

国際航業

Google Earth AI – AIが衛星データの解析を変える新時代へ

<https://www.kkc.co.jp/service/blog/google-earth-engine/product-info/article/32537/>

大阪府スマートシティ戦略部

大阪広域データ連携基盤ORDENでめざす未来社会の先行実現

[https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/supercity/openlabo/PublicWeek2024\\_Osaka2Presentation.pdf](https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/supercity/openlabo/PublicWeek2024_Osaka2Presentation.pdf)

大阪府・大阪市

大阪のスーパーシティについて

[https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc\\_wg/r7/pdf/250423\\_shiryou\\_1\\_2.pdf](https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc_wg/r7/pdf/250423_shiryou_1_2.pdf)

（上記すべて、最終アクセス日：2025年12月10日）

【聞き取り調査】

・沖縄県那覇市役所 防災危機管理課（2025年9月24日）

・東京都新宿区 危機管理担当部 危機管理課（2025年10月22日）

ご清聴ありがとうございました！

